

にこにこ情報

竹とんぼ



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10

電話 098-930-2525 (にこにこ)

FAX 098-933-1324

ホームページ <http://www.ryokukai.or.jp/>

メール kikaku@ryokukai.or.jp



飛行日誌

飛行日誌の四月号に病歴自慢、五月号には職歴自慢みたいなことを書いたがご勘弁願いたい。さて、小生は緑樹会の職を得る三十歳までは職を転々としてきたわけだが、二十歳代後半はハッスル会と沖縄市身体障害者協会に所属し、収入のない活動をやっていった。前者は那覇市与儀にある沖縄県整肢療護園の卒園者で、気の合う仲間たちの親睦会である。後者は沖縄市在住の身体障害者の集いである。成人して、はじめて小生は、多種多様な身体障害者と交流を持った。中学一年から二年まで私は整肢療護園に入所していたので、多くの肢体不自由者と交わっていたのだが、その後二十五歳ごろまでは障害者とは無縁の状態であった。あらためて障害者と付き合ってみて感じたことは、障害者とは実に個性的な人たちばかりであるということである。身振り手振りはともかく顔の表情まで大げさな聴覚障害者、ぶらぶらと与太っている上肢障害者、天気を読んでいるのか視覚障害者、癩癩で今にも杖を振り回しそうな下肢障害者、デスクワークの達人車椅子利用者、見飽きることのないバラエティ集団である。そして彼らは、概して大酒飲みであった。酒を酌み交わす中で、それぞれの個性の体談に花が咲いた。就職問題、教育問題、福祉施設問題、ひいては街の構造問題、福祉文化問題まで発展した。問題当事者の仲間と語り合うなかで、小生は、自分が何者なのか、何のために生きていくのかを問い、自ら果たたさんとする使命を決意するに至るのである。現在、リフト付き車両を目にしない日はないほど当該車両は全国を疾駆している。しかし昭和五十二年当時、沖縄には一台も走っていなかった。「障害者がいつでもどこでも動けるハンディキャップ」、障害者問題の突破口はこれだと思った。小生には妻子を養わなければならない定職探しがあったが、昭和五十三年は沖縄市にハンディキャップを運行させる運動にそれこそ精魂を注いだ。発想は具現化した。翌年四月一日に運行実施主体を沖縄市社協に位置づけたあと、何の巡り会わせか、小生は、緑樹会の設立準備に取り掛かることになった。(かなぐすく)



リフト車による送迎で、車イスの方でも安心してご利用いただけます。



送迎前の車両点検は毎日実施



毎朝のミーティングでは、本日のサービス内容や連絡事項、注意事項などを確認

**緑樹苑のサービス
デイサービス
指定通所介護**

毎日を楽しく元気に過ごそう！

～ 緑樹苑デイサービスの1日～



09:00～ おむかえ

広々とした専用車両でご自宅までお迎えします。



09:30～ 健康チェック

デイサービスに到着後、体温や血圧を確認し、ご気分を伺います。



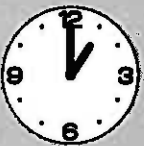
10:00～ 入浴・体操・機能訓練

入浴や機能訓練のほか、健康体操や歌声(カラオケ)、レク活動を行います。



12:00～ 食事

季節の食材や行事に合わせた食事をご用意。また、きざみ食など利用者に合わせて食事形態も。



13:00～ レクリエーション・行事活動

さまざまな活動をご用意。毎日お越しいただいても飽きさせません。



15:00～ おやつ

みどり学童クラブの子ども達とのおやつ会や手作りおやつ会も実施。



16:30～ お送り

お迎え同様、専用車両でご自宅まで、お送りいたします。

多彩なレク活動

緑樹苑デイサービスセンターでは、レクレーションや行事を数多く取り入れている。手芸や大正琴などのクラブ活動、ボーリングや脳トレなどのゲームと、利用者の趣向に合わせたものから皆で楽しむものまで、利用者を飽きさせない工夫を凝らしている。利用者自身がおやつを作る手作りおやつ会では、ヒヤヤーチーやチンビンなど

地域のボランティア

ボランティア活動の申し入れも数多くあり、ハンドマッサージやネイルサロン、民謡ショーや身の回りの世話など、各地から個人や団体、外国人や学生など多種多

様なボランティアが来苑し利用者から喜ばれている。また、ボランティアの方々と接することで社会との接点を持つことにも繋がっており、利用者らへの良い刺激となっている。それ以外にも、サービスのマンネリ防止にもなり、新しいサービスへ発展していく効果もある。緑樹苑のデイサービスで提供されるサービスは、施設が提供するだけでなく、地域の方々に支えられて成り立っている。



利用者の運動機能に合わせた機能訓練をご提案。



マシンを使ったトレーニングも



歩行に不安がある方も職員が付き添います。



5月に行われた母の日交流会では
児童らからプレゼントが贈られた



朝の健康体操



レク活動は、飽きさせないように、
さまざまな趣向をこらします。

子ども達との 世代間交流

緑樹苑デイサービスセン

ターでは、平成22年から同施設内に児童クラブを併設しており、お年寄り子どもたちが交流する機会を積極的に設け、敬老会や誕生会はもちろん、日々のレク活動でも一緒にゲームをしたり、一つの時間を共有するなど、交流を深めている。

デイサービスを利用されている方々の年齢層が、児童クラブに通う児童らの祖父

母よりもさらに上の世代の高齢者も多く、お互いに日常

生活ではなかなか触れ合うことのない世代間交流の場として、児童の保護者からも好評を得ている。

みどり児童クラブのことも達と触れ合うようになつてから、普段無口な利用者も「子ども達を見ているとつい口元がゆるでしまう。」と楽しんでる様子。

デイサービスの奥座嘉一郎所長は「児童クラブを併設している緑樹苑だからこそ

できるサービス。（交流を持つことが）相乗効果で双方に良い刺激となり、地域貢献にもつながる。」と話した。

（砂川智規）



子ども達との交流が一番の楽しみ



食事の配膳も一工夫。コック姿の職員



お帰りの際はカチャシーでお見送り



手作りおやつ会



私たちがお手伝いします！！

お問い合わせ連絡先
緑樹苑デイサービスセンター
 電話 (098) 932-6566
1日無料体験実施中
送迎・食事付き

あいがとうの感謝を込めて 緑樹会の「母の日」祝い



職員による歌と演奏で母の日を祝った。

沖縄を支える「母たち」への感謝を込めて、緑樹会では各施設ごとに「母の日」が盛大に行われました。
特養では、恒例の職員バンドによる民謡ショーが。みんなでデンサー節を歌い、ひやみかち節や唐船ドリーで、モーイモーイカチャーシータイム。
はいびすかすでは、利用者家族(天久郁子さん)による日舞が披露され、流れるような動きに皆さんうっとり。



みどり学童クラブの子ども達との母の日交流



はいびすかす利用者ご家族の天久郁子さんによる日舞

デイサービスでは、みどり学童クラブのこども達からプレゼントが手渡され、唐船ドリーにあわせ元気いっぱい道ジュネーで交流。
また給食センターでも、在宅の利用者へひやみかち棒とお茶のプレゼントが届けられ、緑樹会全体で、感謝を込めて母の日のお祝いをしました。
(幸喜穂乃)

嘉手納基地内の小学校と交流

アメリカエアハートスクール学芸会

緑樹苑職員との 合同エイサーも

5月6日(火)、嘉手納基地内にある小学校(アメリカエアハートスクール)にて交流会が行われ、ていんさぐぬ花の利用者・職員の総勢16名が参加した。当日は梅雨入りであいにくの天気だったが、利用者らは基地内へ入れるとのこと、とても楽しみにしている様子。

交流会では、小学生らによる三線合唱や踊り、獅子舞などが披露され、また緑樹苑職員と合同でエイサー・演舞も披露された。

演舞終了後は、子どもたちと一緒に「おやつ・コーヒータイム」もあり、外国のカラフルなお菓子に興味津々!「このケーキ美味いねー」、「ジュースおかわり!」などと談笑しながら終始なごやかな雰囲気では盛り上がりがあった。利用者の嘉陽スミさんから「去年と今年で2回目の参加だけど楽しかったよー、最高!また来年も呼んでねー」と喜びの声が聞かれた。
(前川太作)



みんなの笑顔

今月の「みんなの笑顔」は、在宅サービスを利用されている、田中伸子さんを紹介します。今回は、娘さんの伊佐ゆみ子さんにお話を伺いました。

若いころは看護師としてお仕事をされ、夫婦共働きだったので、忙しい毎日を送っていたそうです。また、趣味も多彩で、カラオケや琉舞、習字や生け花など、仕事の後に習い事に行ったり、娘さんを連れてダンスホールにもよく行かれたそうです。

デイサービスでは、持ち前の明るい性格で、他の利用者さんや職員らと接し、レク活動にも楽しく参加されているとのこと。

緑樹苑を利用するようになってからは、表情が柔らかくなり、笑顔も増えたそうです。

取材/砂川智規

たなか のぶこ

田中伸子さん(86歳)



昭和2年10月16日生まれ、辰年
趣味：カラオケ、生け花、琉球舞踊など
好きな食べ物：好き嫌いなし

平成26年度 社会福祉法人緑樹会 役職人事

特別養護老人ホーム緑樹苑

栄養課長 平良 昌子
管理課長 宮城 憲治
看護課長 上原 ノブ子
介護主任 大石 雅代
介護主任 崎原 盛史
調理主任 永山 昭裕
経理主任 山内 弘美

緑樹苑デイサービスセンター

管理係長 小渡 修
介護主任 比嘉 なおみ

ケアハウスはいびすかす

管理課長 山城 勝彦
管理係長 橋詰 金子
介護主任 信清 典子
調理主任 佐々木 良美

ケアハウスていんさぐぬ花

副施設長 上江洲 ひとみ
管理課長 桃原 賢治
管理係長 川上 昌子
介護主任 下地 義治
調理主任 知念 ゆかり
看護主任 名嘉真 和子

事務局

庶務主任 砂川 智規



ケアハウスはいびすかす

施設長あいさつ

よこだ てつお
與古田 哲雄

この度ケアハウスはいびすかすの施設長を仰せつかりました與古田です。趣味は囲碁です。長年、金融関係で仕事をしておりましたが、老人施設と関わるのは初めてです。

約一カ月程過ぎましたが、職員が(特に若い職員が)甲斐甲斐しくお年寄りの世話をしているのを見ますと感動を覚えます。

ついの住みかとしてははいびすかすに来られたお年寄りが、楽しく人生の終焉を迎えられる場所として、職員一同、一体となって施設運営に取り組んでいきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願ひします。

みどり学童クラブ 交流会 緑樹苑デイサービス

「週刊レキオ」で紹介

琉球新報で毎週木曜日に発刊される副読紙「週刊レキオ」で、みどり学童クラブの児童と緑樹苑デイサービス利用者の交流が紹介されました。



5月8日、琉球新報副読紙「週刊レキオ」1面2面



演劇集団“創造”創立五十三周年記念公演 ～でいご村から～

琉球古謡の会・首里クエーナ保存会出演



あの「創造」から出演依頼がきた。「沖縄市文化協会」の舞台発表をみて、創立五十三周年記念公演に出てほしいとの事である。会員のスケジュール調整ができるか不安もあったが、断る選択肢は浮かんでこなかった。

沖縄戦に翻弄された恋人たちの「後生(グソウ)にーびち」の場面だと聞き、金城光枝先生をお葬りした「旅歌」に決め、早速、首里クエーナ保存会に連絡する。クエーナを劇の一場面として使っているものか、少し迷いもあった。



たけれど、玉城会長の「多くの人に知ってもらうために、いろいろな場に出ていくことが大切」の言葉で一安心。

お稽古とりハーサル、本番をあわせて6回の参加だったが、舞台を創る人たちの情熱、沖縄への思いの深さをひしひしと感じ、ワクワク、ドキドキの充実した時間だった。公演後「おかげで舞台が締めまりました。」の言葉を頂く。

うるま市市民芸術劇場、国立劇場おきなわの2回の公演で千人を超える観衆にクエーナを聴いていただいた。クエーナに込めた想いをどのように受け止めてくださったのだろうか。

(琉球古謡の会・金城洋子)

後援会だより

平成26年度緑樹会后援会第1回役員会及び平成25年度監査を実施！

新年度も明けた4月24日に第1回役員会が行われました。13名の役員が集まり総会へ向け前年度の事業や収支報告、事前に行われた平成25年度監査について事務局が報告し、新年度事業計画に向けて活発な意見交換がなされました。役員の方々は、それぞれが企業、団体等で活躍されている方々であり、後援会員の層の厚さに驚きと、応援団としてさらなる活性化を！との意気込みに、今年度事業へのますますの期待を寄せた役員会でした。

緑樹会后援会会員募集中!!

後援会は、緑樹会の事業及び運営を支援するとともに、社会福祉事業に対する地域社会の理解を深め、あわせて会員相互の親睦を図ることを目的としています。

ふれあいパーティやピクニック、礼楽塾への参加など、遊びも学びもお楽しみいただけます。ぜひ、ご入会、また興味のある方は事務局までご連絡下さい♪お待ちしております！！

■年会費:2,400円（毎月発行の広報誌「竹とんぼ(後援会だより)」の郵送料等へ充てられています。）

礼楽塾

礼楽塾とは、緑樹会に集う人々が「礼」によって美しく調和し、「楽」によって自らの人生を謳歌することを目的に行われる後援会会員のための活動です。日程が変更になる場合もあります。参加ご希望の方は、また新たに活動を始めたい方、こんな活動があったらいいなアイディアも、ぜひ、事務局までご連絡下さい！（*印は、会場が講師の道場等となります。）

■松合流琉球舞踊*	第1・3(月)	■王府おもろ*	第2・4(水)
■三板	第2・4(火)	■応急手当法	第2(木)
■御座楽・路次楽*	毎週(火)	■琉球史	第1・3(木)
■島言葉	第1・3(水)	■湛水流三線	第3・4(金)
■クエーナ	第1・3(水)	■介護技術勉強会	第1・3(金)

PHPかりゆし友の会

5月10日、新たなメンバーも加わりPHPかりゆし友の会の学習会が和やかに行われた。PHP誌の5・6月号から、それぞれ気づきのあった部分を発表した。同じ文章を読んで気になる箇所、そこから連想されるものなど各々の感じ方の違いを共有することで、理解に深まりを増すこととなり大変有意義なものとなった。

- 日 時:平成26年7月12日(土) 17時~
- 場 所:総合福祉センター緑樹苑
- 〈次回の案内〉 ■内 容:PHPかりゆし友の会総会
- 連絡先:090-1945-0752(田中)、098-930-2525(金城)



PHPかりゆし友の会は、「素直な心になりましょう」をモットーに、学習会や交流会等を行っています。セミナー開催時に入会受付を行っておりますので、ぜひ、ご参加ください。

(PHPかりゆし友の会は、奇数月の第2土曜日17時から開催しています)

6月行事

	特別養護老人ホーム緑樹苑	ケアハウスはいびすかす	ケアハウスていんさくぬ花	緑樹苑デイサービスセンター	みどり学童クラブ
1(日)					
2(月)					
3(火)	地バーリー	地バーリー	地バーリー		
4(水)					
5(木)			誕生会	マッサージボランティア	
6(金)		カラオケクラブ			
7(土)					
8(日)					
9(月)		手芸クラブ			
10(火)		ミニドライブ		苑内交流会	デイサービス交流会
11(水)		防災訓練			防災訓練
12(木)	防災訓練	書道クラブ	防災訓練		
13(金)	父の日交流会	父の日		6月誕生会	誕生会交流会
14(土)					
15(日)			父の日		
16(月)		ミニシアター			
17(火)		お茶クラブ	遠遊会		
18(水)					
19(木)		美化活動			
20(金)	6月誕生会	カラオケクラブ		遠遊会	
21(土)					
22(日)					
23(月)		手芸クラブ			
24(火)					防災訓練
25(水)	防災訓練	防災訓練			
26(木)		散髪・書道クラブ			
27(金)		ミニシアター			
28(土)					
29(日)					
30(月)					

感謝録

(平成二十六年四月一日～四月三十日)

〈物品の部〉

友利 ツル子 様 (ご家族)
 島袋 康三 様 (ご家族)
 池原 千代 様 (ご家族)
 平敷 善勝 様 (ご家族)
 小橋川 静子 様 (ご家族)



暖かいご支援御協力下さいました方々に
紙上より厚く御礼申し上げます。

〈訂正〉

5月号掲載の、ケアハウスていんさくぬ花落成式・祝賀会寄付者ご芳名のページで「大城政章様」と掲載しておりましたが、正しくは「大村政晃様」の誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。

編集後記

5月8日付け、琉球新報の副読紙「週刊レキオ」にみどり学童クラブが紹介されました。デイサービスとの交流を紹介していましたが、お年寄り子ども達との触れ合う雰囲気、わかりやすく伝わる内容になっていました。紹介されている利用者らと児童らを知っているだけに、記事を読んでみると本当に声が聞こえてくるような気がして、普段から新聞を読んで記事の書き方を参考にしますが、改めて、プロの観察力と表現力はさすがだなと感じました。(砂川智規)